

〈写真〉阪神・淡路大震災

5 市民を守る

東海地震に備えて
地域防災計画の見直しと
公共施設の耐震改修を

本市が地震防災対策強化地域に指定されたことに伴い、今年6月に「安城市地震災害警戒本部条例」を制定しました。警戒宣言が発令された場合、すみやかに警戒本部を設置するための措置です。

また、市では現在「安城市地域防災計画」の見直しを進めています。強化地域内の自治体に義務付けられる「地震防災強化計画」を含めた計画とするもので、地震防災上実施すべき応急対策、必要な施設の整備計画などを定めます。

さらに、公共施設の耐震診断及びその結果により耐震改修を進めています。現在、耐震診断が必要な建築物のうち、約35%の診断を済ませました。今後も、限られた予算の中ではありますが、小中学校を中心に、順次、耐震診断及び改修を進めます。

念には念を
避難所を決めていますか

現在、市では万一の災害発生に備えて、下図のように市内52か所を「避難所」に、また3か所を「広域避難所」に指定しています。いざというときにどこに避難するかをあらかじめ家族で決めておけば、離ればなれになる心配が少なくなります。離ればなれになった場合の連絡方法を含めて、十分に家族で話し合っておきましょう。

地震防災パンフレットを
全戸に配布します

大地震に対する知識を深めるとともに、防災意識を高めてもらえるよう、地震防災パンフレットを全戸に配布します。11月ごろに配布する予定です。

安城市民博覧会で
震度6弱を体験しよう

10月26日(土)・27日(日)に市総合運動公園で行われる「安城市民博覧会」に、地震体験車「なまず号」がやってきます(26日午後・27日終日)。どれほど揺れるのかを事前に知っておけば、いざというときに余裕が生まれます。また、阪神・淡路大震災の記録写真の展示や非常食サンプルの展示も行いますので、ご家族お誘いあわせの上、ご来場ください。

避難所マップ

○避難所 ●広域避難所

① 北部公民館	⑩ 安城南部小学校
② 里町小学校	⑪ 安祥中学校
③ 志貴小学校	⑫ ゆたか保育園
④ 安城北部小学校	⑬ 西部公民館
⑤ 東山中学校	⑭ 安城西部小学校
⑥ 作野公民館	⑮ 高棚小学校
⑦ 今池小学校	⑯ 三河安城小学校
⑧ 作野小学校	⑰ 安城西中学校
⑨ 篠目小学校	⑱ みなのわ保育園
⑪ 安城東部小学校	⑲ えのき保育園
⑫ 安城東高等学校	⑳ 二本木公民館
⑬ 中部公民館	㉑ 二本木小学校
⑭ 安城中部小学校	㉒ みその保育園
⑮ 新田小学校	㉓ 南部公民館
⑯ 安城北中学校	㉔ 丈山小学校
⑰ 市体育館	㉕ 明和小学校
⑱ 安城農林高等学校	㉖ 明祥中学校
⑲ 文化センター	㉗ 城ヶ入保育園
㉑ 桜町小学校	㉘ 桜井公民館
㉒ 錦町小学校	㉙ 桜井小学校
㉓ 市民会館	㉚ 桜林小学校
㉔ 昭林公民館	㉛ 桜井中学校
㉕ 安城南中学校	㉜ 三ツ川保育園
㉖ 赤松保育園	㉝ 安城南高等学校
㉗ 安城高等学校	
㉘ 安祥公民館	
㉙ 祥南小学校	

●市総合運動公園
●市役所・安城公園
●秋葉公園

阪神・淡路を上回る被害を想定

内閣府中央防災会議は、今年8月に東海地震の被害想定を初めて公表しました。それによると、最大で約23万棟の建物が全壊し、死者も最悪の場合で8100人に上ります。これは阪神・淡路大震災の被害を大きく上回るものです。ちなみに、この被害想定には、火災、津波、斜面崩壊による建物被害や死者数は含まれていません。

確実にやってくるその日

東海地震は、いつ起こってもおかしくないと長年言われ続けています。それゆえに「来る、来るって言う

他人ごとだと思っでいるませんか？

県・防災に関する意識調査から

関心はあるのに、備えは…？

県は、今年2月から3月にかけて、県内に住む20歳以上5000人を対象に、「防災(地震)に関する意識調査」を行いました。

その結果、「東海地震や東南海地震に関心がある」と答えた人は、全体の92%に上りました。

それにもかかわらず、「非常持ち出し用の食料を備蓄している」と答えた人は全体の38%。望ましいとされている3日分以上の備蓄をしている人は、わずか16%に過ぎません。

また、住まいの地震対策についても、「不安はあるが特に何もしていない」と答えた人が全体の74%を占めています。

この意識調査で、関心はあるにもかかわらず、備えが進んでいない実態が浮き彫りになりました。

「他人ごとだと思っでいるんじゃないの?」と安心してしまっている人もいるのではないだろうか。しかし、歴史が示すように、巨大地震は繰り返して来るのです。東海地震は必ず来ます。しかも、おそらくそれほど遠くない未来に。

自分と自分の大切な人を守るために

わたしたちが今できることは、地震に関する正しい知識を得て、常に危機感を持って事前に備えることです。備えさえ万全ならば、人命を守ることができるし、物的な被害も最小限に抑えることができます。今すぐ、身のまわりの防災対策を始めましょう。自分と自分の大切な人やものを守るために。